

医院 開業 成功 マニュアル

編著：JP コンサルタンツグループ

成否を分かつ！ 新たな時代のクリニック開業

最近、社会保障と税の一体改革が話題に上っているが、これは、裏を返せば、社会保障費の抑制と財源確保ということである。特に、社会保障関係の財政支出が膨れ上がり、財政が火の車になっているのは、年金、高齢者医療、介護が主な原因とされる。つまり、厚生労働省は医療費抑制政策を今まで以上に推進し、高齢者の自己負担の引き上げ、過剰な投薬の抑制、診療報酬の引き下げなど、医療を提供する側にも、切り込んでくるはずだ。

このような社会状況の中、医業経営を取り巻く環境はますます厳しくなっているのである。

それでは、医療業界の状況はどうなっているのだろうか。

まず、病院、有床診療所、一般診療所の施設数の年次推移である。大きな傾向として、病院、有床診療所は減少しており、一般診療所は増加している。厚生労働省が毎年集計している医療施設調査によると、病院は、この10年間で596施設（平成12年9,266施設—平成22年8,670施設）の減少、一般診療所の内有床診療所は、この10年間で7,233施設（平成12年17,853施設—平成22年10,620施設）の減少、これに対して、一般診療所全体としては、この10年間で7,007施設（平成12年92,824施設—平成22年99,831施設）の増加となっている。一般診療所については、平成23年5月末の概数ではあるが、99,957施設に増加している。一般診療所の10年間で7,007施設の増加は純増の意味で、内容を分析すると、この10年間の開業等が50,000施設程であり、廃業等が43,000施設程である。つまり、医療業界は世代交代が進んでおり、第一線で働く若い開業医が多くなっている。また、有床診療所、病院が減少傾向にあるとはいうものの、300床以上の病床を有する病院数には変化が見られず、勝ち組と負け組がはっきりと分かれてきている。ここでも、医療施設間の競争の激化が読み取れる。

そして、もう一つ重要なことは、国民の権利意識の高揚である。具体的には、お客様である患者の権利意識と医師とともに医療を支える職員の権利意識の高まりである。医事訴訟や未払残業代請求訴訟などが増加傾向にあるのは、当然、患者や職員の権利意識の現れである。このような訴訟など起こさないためには、日常から、医療水準を上げる努力が必要であり、人事・労務管理をしっかりとしておくことである。

以上、見てきたように、診療所を開設するに際しての外部環境は大変厳しいものがあるが、一方で、今まで以上に診療所の担う役割が増しているのも確かなことである。また、国民医療費の伸び率を抑制できても、国民医療費の総額は増え続けるのも確かなことである。各々の診療所が地域医療に徹すると同時に病診連携、診診連携の新しいネットワーク化が重要視されつつある今、旧態依然とした診療所は排除されていき、職員とともに、患者に対して高い医療サービスを提供できる診療所が求められるのである。

診療所の経営において、開業時が一番重要な時期であり、今後の医業経営を左右することにもなる。是非、これからクリニックを開業しようとお考えの先生方においては、本書を一読していただき、失敗しない開業をしていただきたい。

最後に、本書でクリニックの開業を決意された先生方の今後の医業経営の成功を祈念し、また、本書の出版にあたり、ご協力していただいた多くの皆様に感謝を申し上げさせていただく。

平成 24 年 9 月

執筆者を代表して
待山 克典

目次

第1章 開業後に伸びるクリニックの成功事例

医療法人社団 よつば会 赤羽駅前心療内科	2
医療法人健清会 那珂記念クリニック	6
医療法人社団慶晃会 大串整形外科	10

第2章 医院開業を取り巻く今日的課題

1 出生率の低下と進展する高齢化現象	18
2 年々高まりをみせる！無床クリニックの存在	21
3 診療科目別にみた開業傾向	25
4 医院経営の実態を財務データから読む	28

第3章 開業準備計画とスケジュールプラン

1 基本構想の決定	36
2 開業手順とスケジュールの把握	41
3 家族等への理解と協力、信頼できるパートナー探し	44
4 自己調達出来る資金の確認	46
5 開業準備の確認チェックシート	48

第4章 開業物件の選定と診療圏調査の実践

1 エリアマーケティングと診療圏調査	54
2 診療圏調査の手順	59

第5章 資金収支計画で決まる上手な資金調達

1 資金収支計画の重要性	72
2 資金計画のポイント	76
3 収支計画のポイント	81
4 資金の調達方法	88
5 融資の審査と交渉	93

第6章 開業時における人の採用と活かし方		3 戦略的リスクマネジメントの考え方	198
1 医療機関における人事労務管理の心得	100	4 医療過誤の問題と対応	199
2 職員の募集・採用のポイント	104	5 成長ステップによる生命保険の活用	201
3 職員の処遇（福利厚生と給与）	114		
4 有効的な職員教育の方法	121	第11章 開業に必要なとなる所管庁への諸手続き	
5 医療機関における人事労務トラブルの傾向と対策	124	1 診療所開設届を保健所に提出	204
		2 保険医療機関指定申請書を厚生局に提出	208
第7章 患者を呼び込む医院建築と設計施工		3 社会保険事務所等への届出手続き	211
1 患者の視点に立って医院建築を考える	136	4 税務署への届出手続き	213
2 土地・建物に関する法律上の制限	139	5 その他、様々な届出手続き	220
3 売買・賃貸借契約時のチェックポイント	141		
4 居抜き物件を利用するときの注意点	145	第12章 これだけは知っておきたい！税務会計の知識	
5 繁栄する医院にみる成功のヒント	147	1 事業所得の計算と開業準備費用	224
		2 税務に関する各種の届出	225
第8章 医療機器・備品の選定とリース活用		3 青色申告のしくみと特典	227
1 開業時における機器・備品の選定基準	152	4 収入と必要経費の把握	229
2 診療科目別にみる開業時見積事例	154	5 減価償却費の計算	232
3 中古医療機器の導入とその際の留意点	159	6 社会保険診療報酬に係る所得計算の特例	235
4 減価償却のしくみ	163	7 消費税の還付手続き	237
5 リースの仕組みと活用上のポイント	164	8 個人事業税の計算	238
第9章 医療保険制度の概要		第13章 増患増収を実現するマーケティング戦略の進め方	
1 医療保険制度の概要	168	1 医療業界の広告規制と規制緩和	248
2 保険医療の範囲	171	2 指標としての患者満足度	253
3 公費負担医療制度の概要	179	3 開業時に取り組むべきマーケティング戦略	255
4 診療報酬請求事務	180	4 インターネットによるブランド化戦略	269
第10章 リスクマネジメントの重要性		参考資料（1）事業計画策定プロセス	
1 リスクマネジメントとは何か	190	1. 事業計画	272
2 クリニックを取り巻く様々なリスク	195	2. 投資計画	277

3. 資金計画	279
4. 収支計画	280
5. 投資計画・資金計画事例	281
6. 収支計画事例	282

参考資料（2）医院経営管理書式集

1. 採用面接	292
2. 入社	296
3. 諸届出	320
4. 経理	328
5. 福利厚生	333
6. 人事評価	339
7. 退職・解雇	343
8. 計数管理	347
9. その他	351